

外国人留学生のための宿舎・奨学金情報



◆宿舎

<p>公益財団法人 自協学舎</p> <p>【入居資格】大学院生・大学生・短大生・専門学校生・高校生、各種受給生、留学生。男女不問、海外の友と異文化交流を経験できます。【経費】短期(3ヶ月未満)一日2350円より利用できます。長期は権利金30000円(返却しません)、家賃28000円(共益費含む)、水道料1500円、電気料使用分。各部屋に机、ベッド、エアコン、トイレ、ユニットバス有り(無料)、インターネット各部屋有(無料)。◆共用ランドリー(150円)、共用キッチンガス代無料。【問合せ】〒813-0012福岡県福岡市東区香椎駅東1-11-23 TEL&FAX 092-672-7637</p>
<p>時習学舎</p> <p>【入居資格】大学院生・大学生・専門学校生。日本人・留学生を問わず【室数】30室。南向陽(15㎡)、ベッド、戸閉り【経費】寮費23000円/人寮内光熱費10000円(2ヶ月目から実費)【募集期間】空室のある時はいつでも受け付けます。現在も空室あり、募集中です。【メッセージ】共用設備/洗濯機・コイン式乾燥機、テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、トースター、ピアノ(楽器・調理等共用で、あります)厨房(朝食・昼食・夕食を自由に作るができます)、浴室(風呂、シャワー)、洗面所(温水が出ます)、トイレ【その他】門限なし、西武線小川駅(西口)より徒歩10分。冷暖房設備有。ランシステム有。【問合せ】〒189-0024東京都東村山町山手見町1-7-2 (財)母と学生の会 TEL0423-93-8330 FAX0423-93-8360</p>
<p>名古屋学生青年センター</p> <p>【室数(人数)】28室(28名)【経費】家賃・和室/36000円、洋室/37000円。共益費1000円。保証金、協力金不要。修理費分担金/家賃1ヶ月分。希望によりインターネット利用できます。1ヶ月2000円。【問合せ】日本聖公会中部教区名古屋学生青年センター 〒466-0804愛知県名古屋市中区東町260 TEL052-781-0165 FAX052-781-4334</p>
<p>向島学生センター</p> <p>【入居資格】大学等に在籍し、大学等からの推薦を受けることのできる外国人留学生、研究者及び外国人客員教授。大学等に在籍する日本人学生及び研究者。【室数(人数)】234部屋【経費】留学生 家賃25000円、共益費4000円、電気の使用料は各自が負担。敷金29000円(留学生以外は家賃35000円、共益費4000円、敷金39000円)【募集期間】随時【設備】(1)住宅内設備・各棟住宅共通 インターネット回線(無料)、電気、水道、給湯、バス、トイレ、キッチン流し、冷蔵庫、電子レンジ、カーテン、ベッド、机、椅子、本棚、靴箱、冷暖房機(2)住居棟 共用施設・住宅1号棟内ラウンジ(共用TV、無料Wi-Fi利用可)、勉強室(無料Wi-Fi利用可)、娯楽室、ピアノレッスン室、共用キッチン、卓球室、コインランドリー(1・3号棟2階以上各階) ※事務室あり(英語対応可) ※夜間(23:00まで)常駐警備、※国際交流行事多数開催(ウェルカムパーティ、着付教室、卓球大会、いけばな教室等) ※家族向け住居有 【問合せ】京都市住吉区 住吉 給付社 向島学生センター 〒612-8133京都市伏見区向島鶴岡町104-1(近鉄向島駅より徒歩15分) TEL075-612-8181 ホームページ http://www.kyoto-jksho.or.jp/center/about.html Facebook: Mukajima Gakusei Center Official</p>
<p>公益財団法人和歌塾</p> <p>【入居資格】大学・大学院に在籍または入学予定の男子留学生【部屋】全個室(洋室約7畳)、家具備付(ベッド、机、椅子、本棚、地デジ・BSアンテナ端子)、冷暖房完備、トイレ(各階)及び大浴場は共用【経費】月額寮費104860円~108070円(朝夕2食と水光熱費、インターネット使用料込み)、保証金100000円(退塾時に全額返金)【応募】直接お問合せください。【メッセージ】早稲田大学まで徒歩7分と都心におり通学に便利です。寮生の大多数は日本人学生です。日常生活の中で日本語や日本文化を学ぶことができます。広大な敷地は緑に溢れ環境抜群、テニスコートや運動コートもあります。寮内では、剣道・居合道・柔道・空手、坐禅、書道、茶道、囲碁などの教養講座を無料で受講できます。【問合せ】公益財団法人和歌塾 〒112-8682東京都文京区目白台1-21-2 担当/下深道 電話/03-3941-7446 Eメール boshu@wakei.or.jp ホームページ http://www.wakei.org/</p>

◆奨学金(一般募集する団体)

<p>公益財団法人 東亜留学生育友会</p> <p>◆支給期間/2020年4月~2021年3月 ◆応募締切/2020年2月10日(月)※郵送必着 ◆対象/①アジア諸国・地域の出身で大学院の正規課程に在籍している学生 ②他の奨学金を15万円以上受給していないこと ③月例会(月1回、原則第2日曜)に毎月出席できること ◆金額/月額3万円 ◆応募方法/①申請書(当法人の指定書式を学内の奨学金担当部署などで配布)※書き ②自分の研究テーマ・研究計画に日本語1000字以内のまとめたもの ※ワープロ書き可 ③在学証明書(4月入学予定者は入学許可書) ④成績証明書の原本 ⑤パスポートの写真を貼ったページのコピー ※申請書①を学内の担当部署で入手し、上記①~⑤の順に書類をホチキスで束ねて直接当法人へ郵送(書留不可) ※①~⑤の順に束ねていない場合は受付不可 ◆問合せ/日本語で1回だけ fujisaki@caat.or.jp まで ◆書類郵送先 〒215-0018 神奈川県川崎市麻生区王禅寺東3-35-8 公益財団法人東亜留学生育友会 代表理事 藤崎 和子 宛</p>
--



講師の内定ブリッジ株式会社・浅海一郎氏

慶應義塾大学大学院SDM研究所 SDM研究科附属SDM研究所 パブリックシステム・ラボ

「共に生きるための日本語 レクチャー&ワークショップ」

慶應義塾大学大学院SDM研究所附属SDM研究所パブリックシステム・ラボは12月7日、日吉キャンパスにおいて、「共に生きるための日本語 レクチャー&ワークショップ」を開催した。日本語のあいまいさや文脈依存性などの特性を知ること、日本人と外国人のコミュニケーションギャップを軽減しようという体験型のワークショップだ。

当日は慶應義塾大学の日本人学生や留学生、留学生担当教員、日本語学校教員や一般企業などから21名が参加。企業や外国人向けのビジネス日本語研修を行う内定ブリッジ株式会社の浅海一郎氏を講師に、ロー

学内のダイバーシティ推進 に留学生の共同研究が役割

「留学は、日本人学生と外国人学生が共に学ぶ機会を得る場である。浅海氏は「地方で日本人マネージャーと外国人実習生の間でコミュニケーションが問題になっている」と指摘。言葉に表れていない意味が外国人に理解されにくい構造を

「留学は、日本人学生と外国人学生が共に学ぶ機会を得る場である。浅海氏は「地方で日本人マネージャーと外国人実習生の間でコミュニケーションが問題になっている」と指摘。言葉に表れていない意味が外国人に理解されにくい構造を



「それだけでいい？」をめぐってペアで話し合う

「留学は、日本人学生と外国人学生が共に学ぶ機会を得る場である。浅海氏は「地方で日本人マネージャーと外国人実習生の間でコミュニケーションが問題になっている」と指摘。言葉に表れていない意味が外国人に理解されにくい構造を

「留学は、日本人学生と外国人学生が共に学ぶ機会を得る場である。浅海氏は「地方で日本人マネージャーと外国人実習生の間でコミュニケーションが問題になっている」と指摘。言葉に表れていない意味が外国人に理解されにくい構造を

留学生の就職支援 の方策を探る JAPI外国人留学生 政策カンファレンス

外国人留学生の就職支援の在り方を考えるシンポジウム「JAPI外国人留学生政策カンファレンス」が2019年12月12日、東洋大学白山キャンパスで開催された(主催/一般社団法人日本国際化推進協会)。

「留学は、日本人学生と外国人学生が共に学ぶ機会を得る場である。浅海氏は「地方で日本人マネージャーと外国人実習生の間でコミュニケーションが問題になっている」と指摘。言葉に表れていない意味が外国人に理解されにくい構造を

「留学は、日本人学生と外国人学生が共に学ぶ機会を得る場である。浅海氏は「地方で日本人マネージャーと外国人実習生の間でコミュニケーションが問題になっている」と指摘。言葉に表れていない意味が外国人に理解されにくい構造を

調査発表を行うオスティン氏

情報源は外国人同士 多言語対応の促進必要

「留学は、日本人学生と外国人学生が共に学ぶ機会を得る場である。浅海氏は「地方で日本人マネージャーと外国人実習生の間でコミュニケーションが問題になっている」と指摘。言葉に表れていない意味が外国人に理解されにくい構造を

「留学は、日本人学生と外国人学生が共に学ぶ機会を得る場である。浅海氏は「地方で日本人マネージャーと外国人実習生の間でコミュニケーションが問題になっている」と指摘。言葉に表れていない意味が外国人に理解されにくい構造を

地域の産業作りに学生の力を AIに日本語理解まだ難しい

シンポジウム「世界の行方を問う 岐路に立つ国際」に地球システム・倫理学会と東京大学未来ビジョン研究センターの共同開催で、当日は小宮山宏、株式会社三

WEB版記事
はこちら
WEB version
of this article

WEB版記事
はこちら
WEB version
of this article

WEB版記事
はこちら
WEB version
of this article